

唐津市 ★★★★★★

# 議会だより

第56号 (平成29年8月1日)

## 目次

- ・議案質疑 ..... P 2・P 3
- ・平成29年度6月補正予算 ..... P 4
- ・常任委員会審査報告 ..... P 5～P 8
- ・一般質問 ..... P 9～P 15
- ・意見書(要旨) ..... P 15
- ・現地調査・議会交際費・編集後記 ..... P 16

キャッスルベイ海辺の祭典(西の浜)

実施日 8月6日



# 議案質疑

提出された28件の議案に対して各会派から15名の議員が質疑を行いました。要約して報告します。

## ●凡例

総務...総務部長、企画...企画部長、財務...財務部長  
市民...市民部長、保健...保健福祉部長  
農水...農林水産部長、商観...商工観光部長  
交流...交流文化スポーツ部長、都市...都市整備部長  
ボ企...ポートルース企業局長、教育...教育部長

## 平成32年度竣工を目指し 市民センター建替え着手

### ◎市民センター改修整備費

50年以上経過した市民センター庁舎の建設に向けた基本設計、敷地測量等を行う。



浜玉市民センター建設予定地

知、蔵木において、庁舎改築等検討委員会を設置し検討。

**質疑** 改修事業内容は。

**答弁**【総務】浜玉は浜玉公民館の敷地に、市民センター・公民館・社会体育館の複合施設に。基本設計・敷地測量・地質調査を予算計上。相知は現地調査の測量費を計上。調査の結果を踏まえ、基本計画を作成。次年度設計。蔵木は用地取得の調整後基本計画を作成。次年度設計。いずれのセンターも平成32年度竣工を目指す。財源は合併特別債を活用。

**質疑** 市民センター整備に對するこれまでの経緯は。

**答弁**【企画】副市長と支所長による「支所のあり方検討会議」を開催。平成26年3月に「支所のあり方に関する中間報告」で、支所機能は現在の支所単位を基本に、小規模多機能型として整備する方針を報告。平成28年度に、老朽化している浜玉、相

知、蔵木において、庁舎改築等検討委員会を設置し検討。



相知市民センター

## 副市長一人へ！

**質疑** 副市長給与費の減額についての内訳は。

**答弁**【総務】当初予算で2人分の給与費等を予算措置していたが、今回1人となったので減額をした。減額の内訳は、特別職給与1155万円、期末手当370万2千円、共済組合掛け金295万2千円、合計1820万4千円の減額となる。

**質疑** 副市長2人体制ということであつたが、今回1人体制ということになつた経緯は。

**答弁**【市長】3月に様々な懸案事項等に迅速に対応するため、副市長2人体制を考えていたが、諸般の事情で提案を見送つた。それ以降これまで副市長不在を解消するために入選を進めてきた。その結果、県から推薦をいただいた方が副市長に適

任と考え今回提案した。もう1名を入選すべきではなかったか。

**質疑** 予算を減額せずに、

**答弁**【市長】これまで副市長2人体制を目的に活動をしてきた。その中でも調整をしてきた。しかし、国の人事が行われる7月までに調整ができなかった。

**質疑** 1人体制では、職務が過重になるのでは。

**答弁**【市長】来年度からの公約の実現に向けて組織強化を図り、その中心となる副市長には行政経験豊富な幅広い知識と見識をもたれた方を県から招聘した。今年度は1人体制となるが、来年度以降2人体制の必要性を感じた場合、適切な方がいれば検討したい。

唐津市議会だより 平成29年8月1日 (2)

# 佐賀国体に向け市民球場改築へ（平成32年7月完成）

## ◎唐津市野球場整備費

平成35年度の佐賀県国民体育大会で軟式球場のメイン会場に内定した唐津市野球場の改築に向けた設計を行う。

**質疑** 敷地が狭い現在地に

どれほどのものが建築できるのか。

**答弁**【交流】現在の野球場

は、バックネット裏が1500人収容のメインスタンドとなっており、改築計画では、選手が控える「ダッグアウト」の上までスタンドを拡張し、3000人収容のメインスタンドを建築したい。また、現在のグラウンドは、両翼91m、中堅120m。公認野球場の両翼98m、中堅122mに今回少しでも近づきたい。スコアボードも改築し、安全性確保



唐津市民球場

のために現在よりも高い防球ネットを設置する。

**質疑** 全体工事費は。

**答弁**【交流】メインスタンドの改築、フィールド改修、防球ネット等参考見積りから積算すると、10億円を超える金額になる。

今後、利用する団体等の意見を取り入れながら事業を進める。

**質疑** 国体開催時の駐車場対応は。

**答弁**【交流】今回の改築は、

駐車場の増設までは考えていない。国体開催時の駐車場不足については、国体開催の先進事例では、大会会場地へ車の進入は

規制されている。選手については、ホテルや練習会場から、また、応援の方については、最寄りの方については、最寄りの公共交通機関や大規模な駐車場からシャトルバスを利用。これからの検討課題であるが、唐津市としても同様の方法を取り入れたい。

## 中学生の学力向上を目指し！

### ◎中学校放課後等補充学習支援事業費

学習内容の定着が充分でない生徒を対象に、学習への意欲づけと学習習慣の確立を図るため、放課後や長期休業中に補充学習を行う。

（第一・鬼塚・湊・西唐津・厳木）

**質疑** 選定理由は。

**答弁**【教育】昨年各中学校

の学校長に、事業の趣旨及び事業実施要領等を通知。全国学力・学習状況調査の結果と生徒の家庭学習の状況等を踏まえ、各中学校で検討した結果5校が希望。市教委で検討し、県教委へ申請。

**質疑** この事業に取組む経緯は。

**答弁**【教育】佐賀県では、

文部科学省の教育支援体制整備事業を受け、平成26年度より実施。

**質疑** 生徒の参加要件は。

**答弁**【教育】学習内容の定着が充分でない生徒を対象に、学習への意欲付けと学習習慣の確立を図るため、自分の学力を伸ばしたいという意欲がある生徒が中心に。

**質疑** 実施時期や時間は。

**答弁**【教育】放課後や長期休業中に補充学習を行うもので、週2回程度、各1時間、年間35週実施する予定。

**質疑** 支援員の確保は。

**答弁**【教育】退職後の教員を有効活用し、本年度は、教員免許保有者である非常勤講師の方等を、学習支援を行う指導員として5名確保の予定。



# 平成29年度 6月補正予算

## 24億9,517万円 を可決しました!

《予算総額 660億2,327万円》

補正予算のうち、新規および拡充事業は次の通りです

新規事業→◎ 拡充事業→○

### 【総務費】 7,074万5千円

- ◎市民センター改修整備費 4,135万2千円
- ◎地域エネルギー創出事業 3,216万円



### 【民生費】 1億2,804万5千円

- ◎浜崎放課後児童クラブ施設整備費 9,453万1千円
- ◎老人福祉施設整備費補助金 3,004万5千円

### 【衛生費】 1,844万7千円

- ◎健康マイレージ事業費 1,844万7千円



### 【農林水産業費】 4億1,604万円

- ◎アスパラガス集出荷施設整備事業補助金 3,171万8千円
- ◎タマネギ乗用管理機整備事業補助金 1,169万5千円
- ◎屋形石漁港改修事業費 590万8千円
- ◎漁港機能保全対策事業費 5,424万7千円
- ◎浜崎漁港海岸浸食対策事業費 593万円



### 【商工費】 1,228万4千円

- ◎アニメーション活用推進費 1,101万3千円



### 【土木費】 4億2,992万円

- ◎子どもを守る通学路づくり事業費 570万円
- 景観まちづくり推進費 2,584万2千円



### 【消防費】 3億5,120万9千円

- ◎はしご車更新費 2億3,675万円
- ◎高機能消防指令センター更新整備事業費 752万4千円
- ◎消防分署建設費 2,157万9千円



### 【教育費】 10億6,848万円

- ◎久里小学校屋内運動場大規模改造等事業費 935万4千円
- ◎中学校放課後等補充学習支援事業費 132万円
- ◎旧高取邸開館10周年記念事業費 497万6千円
- ◎サムスンデフリンピック出場特別奨励費 30万円
- ◎唐津市野球場整備費 9,396万7千円



◎市民センター改修整備費

**質疑** 今後の市民センターは、小規模多機能型を目指すとの事だがどの様になるのか。

**答弁** 各施設基準を参考に面積を算定。その中で重複する部分を減らし小規模化へ。浜玉市民センターの場合は、4500㎡ある施設を、統合する事で2900㎡へ縮小。

**質疑** 設計の進め方は。

**答弁** 基本設計及び実施設計共入札方式で行う。各市民センターの歴史的背景、地域性を考慮した施設を目指す。

**質疑** 今後の公共施設更新についての方向性は。

**答弁** 住民へ説明の為の動画を制作し、保有量削減の必要性及び財源不足等の各条件を提示したので、検討に入る。

◎市民センター耐震化事業費

**質疑** 耐震改修を行った場合、公共施設再配置計画等で障害となるのでは。

**答弁** 防災の拠点であるので、安全性の確保を優先する。公共施設再配置計画は別の議論。

**質疑** 支所のあり方に関する最終報告書・公共施設再編計画との整合性は。

**答弁** 支所のあり方については、早急に取りまとめ提示する。公共施設再配置計画は、平成29・30年度で策定する。

【付帯意見】市民センター改修整備費及び市民センター耐震化事業費については、市民センターのあり方を速やかに作成し慎重な予算執行に努めること。また、公共施設再配置計画についても早急に作成すること。

◎企画事務費

**質疑** 未来づくり研究会の目的・課題は。

**答弁** 市長公約実現の為に、若手職員のスキルアップを目指す。若手職員が将来の唐津について課題を見つけ出し、問題解決を図って行くこと。市長の任期中は行う。

**質疑** 職員のレベルアップの為に設けた、提案制度は。

**答弁** 職員提案が少なく廃止した。本事業で、職員提案制度の先進事例を研究し協議する。

◎地域エネルギー創出事業

**質疑** 地域エネルギー会社創設とあるが、民業圧迫になるのでは。

**答弁** 平成28年4月から電力の小売りが始まった事により、民間企業、自治体でも販売できるようになった。よって、企業間競争と同じで、民業圧迫にはならない。

**質疑** 創設した場合、自治体主導で、運営を行えるのか。

**答弁** できるだけ民間の事業者による経営を考えている。そのベースとなる基礎資料をつくるための調査を行う。

◎消防施設・設備整備費

**質疑** 消防団員定数の見直しと統廃合との関係は。

**答弁** 平成30年度中に協議をして、平成31年3月の議会に条例定数の改正を出したい。その際、部の再編は避けて通れないと認識。

**質疑** 高機能消防指令センター更新整備事業費

**質疑** 向上する機能は。

**答弁** 受付補助装置、火災現場画像伝送装置、本庁防災センターとの情報共有等の機能が向上する。

**質疑** 消防団との連携は。

**答弁** 消防団幹部等の防災関係者には、災害メールに地図情報を添付し、より迅速に出動できる。

◎消防分署建設費

**質疑** 分署の建設地が現地建替えでない理由は。

**答弁** 現在の分署は敷地が狭く、建物を使用しながらの現地建替えは無理。また、敷地が狭く、訓練等にも支障をきたすので別の場所を選定した。

◎中学校放課後等補充学習支援事業費

**質疑** 5校で実施されるが、他の中学校が応募していない理由は。

**答弁** 補充学習指導員の人材確保が難しい。

**質疑** 3学年で一人の指導員で賄えるのか。教科の選択については。  
**答弁** 指導員を増やすことは出来ない。校長判断で、理解が遅れている生徒を優先し定数を守る。教科は、数学が英語を選択。

**質疑** 平成26年度から県で採用されている制度だが、他市での成果は。

**答弁** アンケートでは、学習内容をよく理解出来た・以前より意欲的に取り組めるようになったなど、成果が上がっている。

**質疑** 数多くの学校が取り組むべきではと考えるが、次年度以降は。  
**答弁** 今年の実態を精査し、多くの学校に導入したい。ただし、強制的には考えていない。

◎議案第101号唐津市一般会計補正予算

**質疑** 副市長1名分の減額補正だが、来年3月まで調整すべきでは。

**市長** 副市長については、省庁からの国と県から招聘し、「新しい風を唐津に入れたい」という考え方で調整してきた。国は、総務省、厚生労働省に働きかけたが調整出来なかつた。

**質疑** 次年度以降も国からの招聘以外は無いのか。

**市長** 副市長、幹部職員と、必要性を感じた時に検討する。国にはこだわらず人選したい。

《現地調査》

- ・都市コミュニティセンター(外町)
- ・相知市民センター(相知町)
- ・消防本部(ニタ子)

◎アスパラガス集出荷施設整備事業補助金

**質疑** 費用対効果は。

**答弁** 現在、個別選別して、箱詰めして集荷しているが、これが農家にとつて重労働となっており、そこを省力化することにより、規模拡大に繋げていくことが出来る。

**質疑** アスパラガスが今後の展望としても伸びていく可能性があるということが前提か。

**答弁** 県内の東部地区は、一大産地となっており、特に青年就農者により団地が形成されている。唐津地域においても、近年、若い農業者がこのアスパラガスに参入する傾向があり、今後も拡大していくと考えている。

◎アニメーション活用推進費

**質疑** 情報発信の内容は。

**答弁** 国内外及び地元でのPR事業、使用許諾権、販促グッズ、新たな書きおろし料、イベントのためのブース費用など。

**質疑** 使用許諾権の内容は。

**答弁** グッズ、広告、テレビ等に使用できるということ。

**質疑** 効果検証、分析の内容は。

**答弁** 大手の旅行会社系の会社への入れ込み状況の情報を活用して、唐津の観光力がどのくらいかをはかるもの。経済効果も把握できる。

**質疑** アンケートの中で、唐津に来たけど、こういうところが足りないとか、こういうことを改善してほしいとか、次につながるような検証はされないのか。

**答弁** 次につながるようにするために、どうすればいいか早急に検証する。

◎議案第91号唐津城条例の一部を改正する条例制定について

**質疑** 天守閣の入場料改定の根拠は。

**答弁** リニューアルした後の増加する経費を年間の入場者数約15万人で割り、その金額56円を410円に足して466円と算出したが、市内の他の施設や他市の城の同等の施設を参考にして設定した。

**質疑** 展示内容はどのような形か。

**答弁** 唐津城の地階に新しく入り口を設け、この地下を「ウエルカムフロア」ということで石垣が積んである感触を楽しんでもらう。

1階は観光案内と体験フロア。2階は歴史のフロア。3階は唐津焼のフロア。4階は交流と休息のフロア。5階は展望フロア。

**質疑** 館内のバリアフリーの対策は。

**答弁** エレベーターがスペースの関係で設置できなかった。そこで、可搬型の階段昇降機を用意している。一基は車椅子のまま上げられるもの、もう一基は車椅子がついた状態の可搬式のもの2種類計2基で、それぞれ5階の展示スペースまで上がっていただく事が可能。

**質疑** 空調、トイレ、階段昇降機など、本来、お客様サービスであつて料金の設定に入れるべきではないのでは。

**答弁** 快適になる分については、負担して頂くと考えている。

**質疑** 展示ケースは湿度管理ができるということだが、活用方法は。

**答弁** これまで保管していたけど展示できなかったものが展示できる。国宝級のものでも展示できると聞いている。

《現地調査》

- ・天徳の丘運動公園（相知町）
- ・浜崎漁港（浜玉町）
- ・唐津城天守閣（東城内）



唐津城天守閣（東城内）

◎国道等戦略事業費

質疑】事業内容は。

答弁】西九州自動車道唐津IC道路予定区域で実施するパーク&バスライドの利用者利便性向上のため、駐車場のアスファルト舗装工事60000㎡と照明灯5基の設置。

質疑】事業のメリットは。

答弁】定住促進につながっている。

質疑】現在の利用状況は。

答弁】平日は通勤、通学で約80台利用。

◎道路新設改良費

質疑】中学校常松線の事業内容は。

答弁】全体金額26100千円、延長50m、車道5.5m、歩道1.5m。29年度完了予定。

質疑】事業費の内訳は。

答弁】設計委託料2000千円、事務費約600千円、工事請負費11500千円、公有財産購入費12000千円

質疑】石原線の事業内容は。

答弁】全体金額61500千

円、延長140m、車道40m。平成32年度完了予定。

質疑】下牟田部線の事業内容は。

答弁】全体金額82000千円、延長193m、車道40m。平成31年度完了予定。



市道下牟田部線（相知町）

◎こどもを守る通学路づくり

事業費

質疑】事業概要は。

答弁】児童の通学時の安全性向上を図るため、町田鬼塚線のカラー舗装、紺屋町船宮町のカラー舗装、紺屋町船宮町の外側線、高畑山本線、千束伊岐佐線の防護柵設置。

質疑】通学路には農道、里道

があるがその整備は。

答弁】里道については、交通

安全施設整備費で検討する。

◎景観まちづくり推進費

質疑】事業の概要は。

答弁】景観地区に指定した地区の助成制度の創設。無電柱化調査検討業務。

質疑】支援制度の内容は。

答弁】金額については、今後検討する。

質疑】無電柱化の調査箇所は。

答弁】城内地区、曳山通り、相知宿通り。

質疑】委員の選考は。

答弁】建築や景観に精通した方。

◎都市公園長寿命化事業費

質疑】補正での事業は。

答弁】妙見児童公園、東の浜海浜公園、桜馬場児童公園、大名小路児童公園、ニタ子児童公園、佐志児童公園の21施設。

質疑】平成31年度まで完了するののか。

答弁】進捗率が43・1%で、

平成31年度完了は難しい。

◎市営住宅屋上防水工事費

質疑】事業の内容は。

答弁】既存屋根葺き材の上に木製下地を組み、野地板、ゴムアスルーフィンング及び化粧スレートを施行。

質疑】化粧スレートの耐用年数は。

答弁】メーカーの30年経年検査、性能試験等がされている。

水道事業会計

◎配水設備拡張工事

質疑】実施箇所は。

答弁】浜玉町谷口地区。

質疑】事業内容は。

答弁】未普及地区解消事業で配水管口径150ミリと口径50ミリ延長710mを追加し、

総延長1760mを布設。

質疑】他に未普及地区は。

答弁】南山上地区、野田地区、山田地区の3箇所。

質疑】関係戸数は。

答弁】152世帯、給水人口691人。

《現地調査》

・市道石原線（厳木町）

・市道下牟田部線（相知町）

議会を傍聴してみませんか

6月定例会の傍聴者は、本会議延べ40名でした。次回の市議会定例会は9月に開かれる予定です。車椅子専用の傍聴席（2席）も整備されています。

◎老人福祉施設整備費補助金

**質疑** この予算は、老人ホームサ  
リバンの老朽化に伴う改築工事で、  
入居者を抱えながらの改築となる  
が、改築工事の工程は。

**答弁** 今度の改築は、現在の建物  
の裏に所有用地があり、施設の利  
用者は現在の施設のまま生活をさ  
れ、完成後に引っ越しする計画。

**質疑** 補助対象外の経費の内容は。  
**答弁** 外構工事と造成等は補助対  
象外。

**質疑** 造成工事も含めて予定工期  
内に終わるのか。

**答弁** 建物工事の着工は11月から  
始まり、来年の8月に完成予定。

◎浜崎放課後児童クラブ施設整備  
費

**質疑** 児童増加による新設だが、  
状況と見込は。

**答弁** 児童数は平成29年度現在の  
627人に対し、ピークの平成31  
年度は約670人で約50人増の見  
込み。

**質疑** 3年生までだった対象児童  
が、平成27年度より6年生までに  
拡大されたが定員160人で大丈

夫か。

**答弁** 定員は、今後の利用児童数  
が最大と見込まれる年度に過去の  
実績を考慮し、若干の余裕を加え  
設定。

**質疑** 新設により駐車スペースは  
どれくらい減るのか。

**答弁** 駐車場は、保護者の送迎時  
や一般の利用に使われており、現  
在約120台の駐車が可能だが、  
約40台が駐車できなくなる。通常  
は問題ないが、運動会等のイベン  
ト時には、今でも不足する状況の  
ため、近隣に十分な広さがある民  
間駐車場を借りている。今後も借  
用をお願いして運動会等に対応し  
たい。



浜崎放課後児童クラブ予定地（浜玉町）

◎健康マイレージ事業費

**質疑** 今年度は事業システム構築  
予算だが事務の流れは。

**答弁** 議会承認後随契にてDHC  
と契約し、順調に行けば8月ぐら  
いからシステムの構築作業となる。

**質疑** 大学連携共同研究450万  
円の内容は。

**答弁** 基本的には健康増進に関す  
る事業と産業をマッチングさせる  
ようなことを考えている。例えば、  
Jソメ関連企業で健康に役立つ産  
業とのマッチングできないかなど、  
大学との協議を考えている。

**質疑** ポイント交換品等の金額の  
考えは。

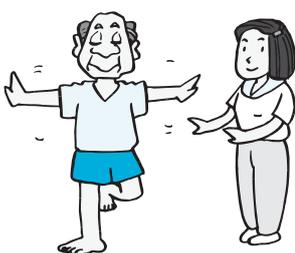
**答弁** 全国的な事例では、高額な  
ところは3万円の商品券、鳥栖市  
では平均して500円前後、唐津  
市としても500円程度で考えて  
いる。一方、愛知県では各店舗で  
5%割引との事例もあり、関係部  
署と検討する。

**質疑** 財源に国の地方創生推進交  
付金を活用し3年間の計画だが、  
継続性が大事と思うが、3年後の  
予算見込は。

**答弁** 3カ年計画で補助金申請し、  
平成30・31年度各年度約3150  
万円で計画、これについてはまだ  
見直しができる。それ以降は構築  
したシステムの管理委託料等で4  
00万円程度と見込んでいる。参  
加対象者への還元等を考慮すると、  
将来的には平均500万円ぐら  
いの予算規模と試算。

**質疑** マイレージのポイントをど  
のように付与し、活用するかが今  
後課題と思う。地域の商工関係者  
とポイントを共有する考えは。

**答弁** 地産地消の観点からも農林  
水産物も対象とするか、商品券な  
のか、割引がいいのか関係機関と  
今後しっかりと詰めたい。



《現地調査》

- ・浜崎放課後児童クラブ（浜玉町）
- ・鏡放課後児童クラブ（鏡）

## 一

## 般

## 質

## 問

6月定例会の一般質問は、6月12日から15日の4日間行われ、19名の議員が登壇しました。

### 市民の声を代弁する 一般質問の掲載について

一般質問の記事は、決められた文字数のなかで、議員本人が質問・答弁の原稿を提出し、その内容に相違がないときは原則として原文のまま掲載をしています。質問の文章を多くしたり、答弁を詳しく表現するかは各議員の判断としています。

### ●凡例

総務...総務部長、企画...企画部長、財務...財務部長  
市民...市民部長、保健...保健福祉部長  
農水...農林水産部長、商観...商工観光部長  
交流...交流文化スポーツ部長、都市...都市整備部長  
ボ企...ポートレース企業局長、教育...教育部長  
農局...農業委員会事務局長、消防...消防長

【質問】唐松医師会は、玄海原発1号機が稼働する2年前から38年間、原発周辺3<sup>キ</sup>圏内の玄海町と旧鎮西町串地区を含む3

【質問】政治倫理審査委員の意見を参考にして、実施する場合は平成30年4月施行をめざす。  
【質問】政治倫理条例の強化について。  
【市長】政治倫理審査委員の意見を参考にして、実施する場合は平成30年4月施行をめざす。

【質問】「全教室クーラー設置」の計画は。  
【市長】普通教室をはじめ、年次的に実施したい。実施計画を今年度中に策定する。  
【質問】9月議会までに示し、具現化は平成30年度からを予定している。  
【市長】実現への道すじは、

【市長】市長は、多くの選挙公約をしたその認識は。【市長】公約は、財政的問題もあるが、実現に向けて取り組まなければならないものと認識している。



浦田 関夫  
(日本共産党 唐津市議員)



玄海原子力発電所 右から2~4号機

地区を対象に血液を含む検診を実施してきた。【部長】旧鎮西町は、615万円を負担している。  
【質問】玄海町や唐津市は、「白血病が多い」という調査結果もある。住民の不安解消のためにも医師会に資料公開を求めるべきではないか。  
【部長】医師会の医学的調査であり、医師会の同意が必要である。今のところ資料の請求は考えていない。玄海町、県とも協議して慎重に検討したい。  
【質問】玄海町とも協議することも大事だが、鎮西町串地区のみでも公開を求めるべきではないか。  
【市長】医師会に公表できるかどうかを確認したい。

【質問】自主防災組織の活動状況は。  
【総務】危険個所を記載した防災マップの作成や想定される災害等に対応した防災訓練が実施されている。資機材の購入や訓練に係る経費は、「唐津市自主防災組織育成事業補助金」を活用して働き、自主防災組織の育成や地域の負担軽減等の支援を行っている。  
【質問】唐津市消防団定数の現状は。  
【消防】条例定数4249人に対し実団員数3931人で、県内最大規模の組織です。  
【質問】人口減少と消防団員定数をどう考えるか。  
【消防】人口減少が続く現状では、定数維持は困難

な状況である。団長・支団長会議や駐在員等地域の意見を伺い、消防団組織の在り方を検討したい。  
【質問】消防団員確保の対策は。  
【消防】マスコミ等を活用して県と共にPR映像等の広報活動を実施している。また、県内事業者へ「消防団員誘遇制度」の周知と協力をお願いしている。  
【質問】消防団の今後の取組は。  
【消防】意欲をもって活動できる体制。そして、団員優遇制度の拡充や訓練・式典等の在り方を協議し、過重な負担とならないよう配慮しつつも、地域防災の中核組織として、育



古藤 宏治  
(清風会)

【質問】唐津市消防団定数の現状は。  
【消防】条例定数4249人に対し実団員数3931人で、県内最大規模の組織です。  
【質問】人口減少と消防団員定数をどう考えるか。  
【消防】人口減少が続く現状では、定数維持は困難





中川 幸次  
(公明党)

有害鳥獣駆除対策について

**質問** 現在の捕獲体制は、**農水** 160名の駆除員が、地域ごとに11班に編成されている。

**質問** 捕獲についての申し合わせ事項があるのか。

**農水** 唐津地域有害鳥獣広域駆除対策協議会において、駆除員が担当地域以外での駆除活動を行う場合は、駆除を行う地域の駆除班長の許可を得ることと取り決められている。

**質問** 広域の駆除体制が出来ないか。

**農水** 広域の駆除体制ができないかについては、対策協議会に伝える。

公民館の現状と課題について

**質問** 車いすの配備やインターネット環境 (Wi-Fi) の整備が必要。

**教育** 車いすは25館中、11館に置かれている。残りの14館には、計画的に配備する。インターネット環境の整備についても

検討する。

**質問** 地域まちづくり会議の現状と対応は。

**交流** 市民センター単位の8地域、旧唐津市の中学校区単位の8地域、計16地域で設立。市の対応としては、各市民センターを含む担当職員並びに地域づくり課に地域まちづくり担当として配置している2名の集落支援員により支援を行っている。

**質問** 公民館によっては地域まちづくりの事務負担が増えていると聞いているが、負担軽減策は。

**交流** 集落支援員は、現在2名で8地域を担当している。4名にしている。1名で2地域を担当するようにしたい。

＜その他の質問＞

◎地場産業の振興について

センタービル・東高移転 (早稲田佐賀) について

**質問** 早稲田が唐津にきたのは嬉しいが、早稲田が中高一貫できているので、東高もそこで中高一貫ができたはずと思うが。

**企画** 唐津東高の移転決定が有り、跡地利用の議論の中で、早稲田大学系属校誘致の話が出てきたものである。

唐津市の財政指標について

**質問** 将来負担比率とは何か。

**財務** 自治体の「標準財政規模」に対して、将来の実質的な負担額がどのくらいあるかの割合。一般家庭に例えると、ローン残高などの借金総額が年収の何年分に相当するか示したものである。

**質問** 将来負担比率が県内で一番高くなっている要因は。

**財務** 市税収入の財政規模に対する割合が低いことや合併前から引き継いだ市債の占める割合が、



林 正樹  
(展望会)

他市と比べてかなり高い状況にある。

**質問** 地方債の残高と今後の見通しは。

**財務** 一般会計の市債残高は、859億5500万円、今後の見通しについては、現在策定中の「財政計画・中期見通し」の中で示したい。

**質問** 健全な財政運営のための今後の対策は。

**財務** 公共施設等総合管理計画に基づく施設の複合化や機能の集約化などを中心に、投資の重点化効率化に努めたい。

観光からつについて

**質問** 今後の観光の目標は。

**商観** 唐津に来訪いただいた観光客や地域の人が幸せを感じる「観光地域づくり」を目指す。

学校給食について

**質問** 東部学校給食センターの納入業者の選定方法と業者選定の規定基準はもうけているのか。

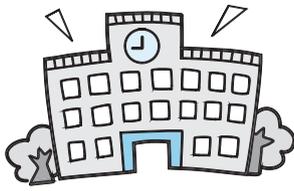
**教育** 既存の業者に、引き続き地元産品を中心とした食材納入が基本的な考えである。納入業者の意見を個々に聞き取り審査後納入教育を行ってきた。納入業者の選定に関しては、既存業者の方々と地元産品を中心とした食材を納入し、その後納入業者の意向を聞き取り納入契約を行う。新規業者に関しては安定供給を担保するのが必須条件であり、実績を積んでからの参入となる。

**質問** 納入業者の選定方法として、すべての納入業者が加入できる新しい学校給食納入組合の組織作りを行い、そのこと契約するのも選択肢の一つではないか。

**教育** 新規に学校給食食物資納入組合を組織し設立することは、やぶさかでないが、これまでの納入業者と新しく参入される納入業者とのバランスをとりつつ、公平性のある価格決定方式も検討事項として、新しいシステム構築に努力したいと考えている。

**質問** 東部学校給食納入組合を中心に輪番制で納品され、納入価格の決定が納入業者間で行われていないか。

**教育** 食材の発注は食材などの価格動向を勘案しているが、生鮮食品は天候に左右される等、適正価格が掴みにくい場合もある。安く品質の良い食材を提供するように納入業者にはお願いするとともに市場動向を注視し情報を収集しながら適正な納品がされるよう食材の検品と納品書での価格確認を毎日行っている。





原 雄一郎  
(志政会)

離島における火災対応について

**質問** 4月に神集島で発生した建物火災の状況は、

**消防** 通報から現場確認まで約50分。鎮火まで約2時間を要した。

**質問** 現在、応援部隊が島に渡る際の体制は、

**消防** 消防本部独自の船はなく島毎に3艇以上の連絡先は把握しているが協定はない。

**質問** 先日の火災の際は手配した船が近くにいなかった為渡航に時間を要した。手配依頼先を新たに増やす事、また協定を結ぶ事は可能か。

**消防** 増やす方向で検討し協定も締結していく。

**質問** 島内に消防資機材を配備する際、基準は離島という地理を考慮しているか。

**消防** 本土と同等の指針を基準に配備していた。今後は地理を考慮して拡充を検討する。

**七ツ釜について**

**質問** 観光面から見た七

ツ釜の立ち位置は、

**商観** 唐津を代表する景勝地、また観光戦略の拠点としても重要。

**質問** 七ツ釜に向かう市道上に枝が張り出し大型の観光バスが通れないが対応は、

**都市** 民地から延びた樹木の為、住民と相談しながら対応する。

**質問** ①生い茂る木や②朽ちた木柵の修繕など公園内の不備の対応は、

**都市** 公園の管理者は県であり市は修繕を受託している為、市が確認し対応する。は県が今年度対応する予定。

**質問** 市長の七ツ釜に対する考えと対応は、

**市長** 唐津の観光に欠かせない観光資源である。魅力を国内外にアピールしていく。



山下 正雄  
(志政会)

観光文化施設のあり方について

**質問** 曳山展示場、旧高取邸、旧中尾家、旧大島邸、旧唐津銀行、唐津城の管理運営や企画事業の所管と案内説明業務の位置づけは、

**商観** 市、文化事業団、観光協会、呼子鯨組で案内説明は基本業務である。企画事業は各団体が行っている。

**質問** 企画事業費は運営費に含まれているのか。

**商観** 含まれていない。

**質問** 市が当初予算で手当、企画し統一的な戦略を立てるべきだ。

**商観** 年初めにも情報を発信していく。

**質問** 各施設の休館日は年中無休にすべきだ。

**商観** 文化財は保守の為週一日は休館日が必要。他は再検討する。

**質問** 旧大島邸で高橋是清関係の事業は、

**商観** 10月から月一回、耐恒寮講座を一般向けに計画している。

**質問** 激動時代を生きぬいた郷土の先覚者の精神力、知力を継承する骨太の事業を青少年対象に実施していくべきだ。

**教育長** たくましく育つことを教育方針とする。

**質問** 名護屋城博物館を入れて7施設の総合力を発揮すべき。10万都市では珍しい。統一感を出せば一級の歴史文化都市だ。

**商観** 大きな魅力の発信を研究する。

**質問** 小笠原記念館について市は無関心だ。小笠原家・時代は日本・唐津のエポックメーカーングだ。まちづくりの核となる。

今後、市はどうするのか。

**商観** リーフレットを作成する。早急に耐震診断をし、まちづくりの核ともなるよう検討し実施したい。



酒井 幸盛  
(展望会)

市長の政治姿勢、政策について

**質問** 第2次唐津市総合計画の変更は、

**市長** 一つ一つ精査して取り組む必要があるが、今のところ計画を変更する考えはない。

**質問** 本庁舎や市民センター見直しは後退では、

**市長** 市民センターの建替えに向けて進めたいと考えているもので、選挙後に考えが変わったとは思っていない。

**質問** 市民センターの権限拡充の検討の経緯は、

**市長** 地域の課題など、市民センターで完結できないような見直しを行っているので、調整がつき次第、関係規則等の改正を行う予定。

**質問** 合併特例債期間が終了すると厳しい財政状況となる。財源的な部分を含め、早期に財政計画を示すべきではないのか。

**財務** 今後、事業ヒアリング等を行い、具体的な内容を示す。

玄海原発(再稼働)で市民の安全安心は守れるのかについて

**質問** 福島原発事故から6年で、いまだに8万人以上の方が「故郷に帰れない」現実を考えると、玄海原発の再稼働に不安がある。それに、使用済核燃料も、後5年でプール一杯になる。この様な状態で市民の不安は高まるばかりである。事前了解と安全保障の入っている4者間の安全協定の締結の考えはあるのか。

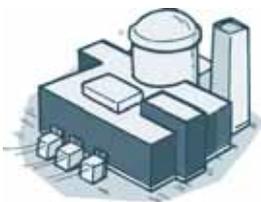
**市長** 事前了解事項を含む協定を新たに締結しなくても、唐津市の意思は十分に伝えることができると認識しており、九州電力の対応状況を注視したいと考えている。



神集島



小笠原記念館





石崎 俊治  
(志政会)

公共施設について

**質問** 市民センターの更新計画の考え方は。

**企画** 議会に報告した「支所の在り方に関する中間報告書」において、地域に密着した小規模多機能型としていく方針を掲げており、公民館などの公的機能を集約した複合施設を推進していく。各施設の更新時期については平成32年度までに策定する「個別施設計画」の中で改修や更新時期の計画を定め推進していく。

**質問** 浜玉、相知、厳木市民センターは更新が始まるが、その後の計画は。

**企画** 建設年度から見ると、北波多、鎮西、呼子になるが施設の目標使用年数も踏まえ検討していきたい。

**質問** 市庁舎建設は、大規模な公共事業となるので。市内の多くの事業者が参加し、透明性を持って取り組むべきでは。

**総務** 従来型である共同企業体での発注方式を考

えており、できるだけ多くの地元企業が参加できるように、分野別の分離発注なども視野に入れ、参加を図っていききたい。

**質問** 唐津市は、県内でも先駆けて、新エネ条例を策定した。庁舎建設では、省エネ化にしっかりと取り組むべきでは。

**総務** 条例の中でも、市の責務として、率先して新エネ導入に努めるとしているので、より高い省エネ機能の導入を基本計画でも位置付けている。

**福祉** 福祉について

**質問** 社協の支所の統合が進んでいるが、福祉の低下が心配だが。

**保健** 社協としては、地区社協やの福祉員の方々と地域に根差した活動の更なる充実を図り、福祉の向上を図っていききたい。



浜玉市民センター



福島 尚美  
(日本共産党 唐津市議員)

給食センターの運営について

**質問** 給食の提供食数は。

**教育** 給食センター方式4施設30校分で5632食。自校方式19校で4712食。

**質問** 給食に関するトラブルへの対応とセンター運営体制の課題は。

**教育** 危機管理マニュアルを作成し、職員会議での周知を行うなどの体制をとっている。運営体制について、今は課題なし。提供食数が増えれば必要な人員を増やす。

**質問** 一中、五中のセンター方式給食化の計画は。

**市長** 現在は策定していない。対象区域の保護者代表や学校関係者との協議を行い合意があれば計画策定を進める。

**高齢者の移動手段対策について**

**質問** 単身高齢者は公共交通を必要としやすいと思うが、市内の高齢者単身世帯数は。

**保健** 平成29年3月31日

時点で9085世帯。市内の18・1%が高齢者単身世帯。平成27年度と比べ530世帯増加している。

**質問** 路線バスの補助金と利用者数は。

**交流** 平成26年度26路線に対して、9965万6千円。平成27年度26路線に対して、9742万9千円。平成28年度29路線に対して、1億164万3千円を補助。利用者は平成28年度が延べ79万3966人で、減少傾向にある。

**質問** 高齢者の移動手段の確保のため柔軟な発想で取り組むべきでは。

**交流** 唐津での新しい取り組みについて調査・検討している。

**その他の質問**  
◎再生可能エネルギーの取り組みについて

バス停



バス停



大西 康之  
(志政会)

商工業の振興について

**質問** 中小企業振興のために、人材育成に加え、中小企業者と経済団体、金融機関、大学、行政など、産学官民が連携し、施策の協議と具体化を図るための「産業振興会議」が必要では。

**商観** 取組は出来てない。

**質問** 継続的で系統的に成果を上げる中小企業振興施策実現の為、法の定める主旨を踏まえ、「中小企業振興条例」の策定が必要では。

**商観** 条例制定も含め、施策展開、サポート体制の確立を検討する。

**質問** ユネスコ無形文化遺産登録後の、外国人観光客への対応は。

**商観** 唐津が世界から注目を集める素材に位置付けられた。多国語版パンフレット、ボランティアガイドの人員増、ごみステーションの多言語標記など、対応を強化する。

市の2大事業について

**質問** ポートレース場本場改修事業の施工業者選定において、技術提案・交渉方式による公募型プロポーザル方式を採用されている。適正工事金額の判断方法は。

**ボ企** 工事費の積算を別の設計事務所へ委託する。

**質問** この方式で1階の運営と責任の範囲は。

**ボ企** 選定業者は、アイデアだけで運営は別。広く開放するエリアをイメージし、ポートレース事業の収益で地域に貢献。

**質問** 市役所本庁舎建替え事業について、平成32年度完成が非常に厳しい現状である。プロポーザルが成立しないが対応は。

**総務** プロポーザルの条件緩和で対応。1社応募でも成立とする。その場合、提案の競争性は無い。別途、評価基準を設ける。



市役所本庁舎



宮本悦子 (公明党)

子どもが本に親しむ環境づくりについて

【質問】ブックスタート事業はどのように実施しているか。

【教育】現在は保健センター

等での乳幼児2か月相談に加え、近代図書館での0歳児の赤ちゃんを対象としたお話し会でも実施。6タイトルの絵本を用意している。事業を始めて9年、79%の配付率。

【質問】セカンドブック事業を3歳児健診時にしてはどうか。

【教育】唐津市子ども読書活動推進計画に盛り込み実施に向け検討する。

虹の松原再生活動について

【質問】虹の松原の再生活動の状況は。

【商観】自由参加方式では年4回実施、アダプト方式では213団体、延べ6999人が登録。再生・保全活動を実施している。

【質問】東日本大震災で壊滅的な被害にあった高田松原へ震災復興の支援を

考えているか。

【商観】虹の松原保護対策協議会で今後考えていく。ゴミ削減について

【質問】一般ゴミの量について過去数年の推移は。

【市民】過去5年間で家庭系可燃ゴミは1191t減少、不燃ゴミも減少傾向。

【質問】高齢者世帯の方々から、可燃ゴミの極小サイズを要望されるが市の考えはどうか。

【市民】「極小ゴミ袋」の作成ではなく、生ゴミ対策として家庭用ゴミ処理機購入費補助対策を行っている。

【質問】高齢者はゴミ処理機器を補助があっても買えない。市民の声に沿った政策をしてほしい。

【市民】「極小ゴミ袋」が必要か研究。



江里孝男 (志政会)

災害に強いまちづくりについて

【質問】自主防災組織の組織率と組織率向上対策は。

【総務】組織率は28・3パーセントである。駐在員会に出向いて説明をし、組織率向上を図りたい。

【質問】自主防災組織の防災訓練と参加状況は。

【総務】災害に対応する訓練を実施。参加状況は、世帯数が多いところでは100人以上が参加。

【質問】消防団で熊本地震を経験しての追加メニューと地域との協力体制は。

【消防】特別に追加した訓練はないが今後支団長会で検討する。1年間で、42組織の訓練指導、講話7回、消火訓練13回、救命講習31回実施した。

【質問】松浦川水系で河川改修が出来ていない所は。

【都市】本山国道橋より上流(町切地区)が未改修。

【質問】町切地区は、(河川改修協議会)を設立され、早期着手に向けた体制を整えられた。関係者

会議を開催していただきたい。

【都市】国道橋、鉄道橋、頭首工については、関係機関や地元と協議連携を図り、事業早期着手に向けて取り組む。

【質問】市長の公約である、自主防災組織の強化とは。

【市長】地域防災における中核的な組織である消防団との連携による総合的な地域防災力向上の強化に努める。

【質問】消防団への支援は。

【市長】地域の実情にあった規模、機能を持った資機材の整備をしていく。

【質問】食料基地となる大型冷蔵庫とは。

【市長】災害時に必要な物資の安定的な供給を行う流通備蓄等を考えている。具体的には、今後研究していきたい。



巖木川(町切地区)



伊藤一之 (社民党)

原発問題等について

【質問】「市長は、原発の再稼働について一定の安全性は理解をした。安全に運転ができ、市民の不安の払拭が出来るのであればと原発の再稼働を容認した。」と報道をされている。市民の不安が払拭された後に再稼働を認めるという考えか。

【市長】再稼働の如何にかかわらず原発が現存する限り、市民の不安の払拭に向けた対応は不可欠。玄海原発については、新規制基準に合格しており、再稼働に必要な安全性を有すると判断されている。再稼働はやむを得ないと考える。

【質問】佐賀県に対して「原子力災害時の避難経路等となる道路の改良要望書」を提出したとして、どこがどう避難に支障があるとしたのか。具体的に伺いたい。

【都市】佐賀・唐津道路(唐津、相知間の早期事業化) 国道204号

(唐房バイパス及び湊・屋形石地区)の整備促進

県道肥前・呼子線(梨川内工区)の整備促進

県道唐津・北波多線(唐津工区)の整備促進

県道唐津・呼子線(唐房入口交差点から岩野交差点)の道路拡幅及び唐房入口交差点改良の促進

県道筒井・万賀里川線(道路拡幅及び改良)の6路線について要望した。

【質問】安定ヨウ素剤の配布について神集島で意見聴取をしたが、島民のほとんどが認知をしていない。離島でこれまでどんな周知をしてきたのか。

【保健】これまで、安定ヨウ素剤の事前配布に重点を置いた周知を行っていたため、島の診療所に備蓄されていることさえ知らないという声もあり、今後、周知を徹底する。





進藤 健介  
(志政会)

いじめ問題について

**質問** 職員室でのいじめ(パワーハラスメント)の防止・解決策は。

**教育** 業務上の必要な指示や注意・指導を不満に感じる場合もあり、業務上必要な指導とパワーハラの区別は難しい一面もある。しかし人格や立場を尊重し苦情の申し出をしやすい職場作りを管理職に対して指導している。

**質問** 市職員に対するハラスメントの予防策は。

**総務** 早期対応や予防対策として職員相談員制度を行っている。希望する職員には産業医による面接指導を実施している。

**質問** 職員研修時のアンケートにおいて様々なハラスメントを受けたとの回答があるが対応は。

**総務** アンケートが無記名のため個別の対応はできていない。職場を管理する各部課長に理解を深め意識向上を図り、より良い職場環境と相談体制の強化を図らせてたい。

温泉施設の運営・管理について

**質問** 温泉源の権利・登記はしてあるのか。公有財産として必要では。

**財務** 公有財産としての登録・登記は行っていない。温泉源は経済的価値を有する温泉権について、財産として取り扱うことが、管理の適正化を図るうえからも適当であると考え。今後、適正な管理・運営となるよう温泉源について、財産登録、鉱泉地登録を速やかに行いたい。

**質問** 温泉水を民間施設に供給しているが、その費目や料金設定の根拠が曖昧ではないか。

**保健** 温泉源の管理方法を含め、問題点を整理し、温泉水の供給に関する条例の制定を視野に入れ早急に事務を進めたい。



伊藤 泰彦  
(清風会)

障がい者支援について

**質問** 市の重度心身障がい者医療費助成の実績は。

**保健** 実人数2885人、延べ件数62343件である。

**質問** 市の現在の手続き方法は。

**保健** 償還払い方式であり、その手続きは、一度医療機関に医療費の支払い後、自治体に対する助成の申請手続きをし、口座に振り込む方法である。

**質問** 申請書の記入や窓口来訪が無くて済む現物給付方式は出来ないのか。

**保健** 変更すれば、国民健康保険制度における国庫負担金を減額措置され、その金額が平成28年度の実績では約5900万円減額調整され、電算システム改修にかかる経費や診療件数に応じた取り扱い手数料が市の負担となるなど、現在県内統一でなければ対応できない。

**質問** 助成を受ける際に一人当たり個人負担500円を徴収しているが、28年度の市の負担額の合計とこの負担金の無料化は出来ないのか。

**保健** 平成28年度の負担額が約1254万円である。また無料化については、医療費に要する個人負担の公平性の観点から引き続き負担をお願いしたい。

**質問** 本市の今後の考え方や取組みについて。

**市長** 一日も早く現物給付が実現出来る様に取り組みたい。

**質問** 聴覚障がい者の人口内耳用の電池に対する助成について。

**市長** 負担軽減のため、人口内耳用の電池に対する助成を、遅くとも平成30年度には実施する。今後は、体外装置置換い替え時の高額な自己負担の軽減や維持管理費に対する補助制度を構築したい。



りんく



榑崎三千夫  
(清風会)

農地・山林について

**質問** 最近海外資本による農地・山林の買収が進んでいる。特に北海道では、平成28年1年間で77haの山林が、中国系資本等を買収されたと聞く。唐津市の農地・山林土地取引の実態は。

**農水** 平成28年度で農地203件、42・9ha。山林106件、208・6ha。海外資本による土地取引はない。

**質問** 唐津市にはないとのことだが、農地の売買に関する法的規制は。

**農局** 農地法において、農地のままの売買は、第3条の農業委員会の許可。転用の場合は第5条の県知事許可が必要となる。

**質問** 山林の売買の法規制は、どうなるのか。

**農水** 「森林法」は、売買後、90日以内に事後の届出が必要。「国土利用計画法」では、利用目的等事後の届け出が必要。

**質問** 山林は事後届け出で良いなら、規制がないと同じである。北海道の

様に、山林の広大な面積を外国資本が買収した場合、どのような影響が考えられるのか。

**農水** 開発行為は事前申請が必要となるが、放任状態が続けば、間伐等の手入れが行われなくなり、山林が荒廃し、水源涵養や土砂の流出防止等の多面的機能が失われ、災害の発生が危惧される。

**質問** 農地については、一定の規制があるが、太陽光発電について、農地転用における太陽光発電と農地のままで行う、ソーラーシェアリングについて唐津市の現状は。

**農局** 太陽光発電は、28年度で13件、面積6.5ha。ソーラーシェアリングは、一時転用許可が必要となるが、唐津市において実績はない。





白水 敬一  
(公明党)

改正地方公務員法成立に  
おける唐津市非常勤の処  
遇改善について

【質問】非常勤職員の現状  
【総務】非常勤495人、臨時  
213人である。

【質問】法改正での唐津市  
の対応は。

【総務】見直しをして非常  
勤には、通勤手当や期末  
手当に相当する報酬を支  
給できるよう処遇改善を  
図っている。

【質問】効率化への業務改  
善を図るトップランナー  
方式への対応は。

【総務】業務改善の自治体  
にはインセンティブを付  
与されるため、非常勤の  
業務の民間委託への切り  
替え等効率化に向けて前  
向きに図っていく。  
住宅セフティネット法成  
立での唐津市の取組につ  
いて

【質問】この法律の概要は。  
【都市】民間の住宅に入り  
にくい高齢社・低所得者  
への賃貸住宅への登録制  
度。最大4万円の家賃補  
助や家主のバリアフリー

化や耐震改修に最大二百  
万円の補助等がある。

【質問】民間空き家室は。  
【都市】2160戸。

【質問】唐津市の取組は。  
【都市】県設置の居住支援  
協議会は活用されていな  
い。県との連携を図り、  
検討したい。

唐津市における「通級指  
導教室」の拡充について  
【質問】発達障がいの子  
生徒は。

【教育長】小学校384名、中  
学校141名。

【質問】特別支援学級数は。  
【教育長】97学級。5年間  
で小学17、中学11学級の  
増加。

【質問】通級指導教室の今  
後の拡充は。

【教育長】拡充は必要。教  
室・加配教員等県に要望。  
〈その他の質問〉

◎唐津出身の漢学者「柿  
村重松」の功績について



山下 壽次  
(清風会)

過疎と農村環境の維持及  
び農業振興について  
【質問】人口減に伴う弊害  
とその対策は。

【企画】平成27年の12万  
2785人から平成47年  
には9万1000人程度  
へと人口減を見込んでい  
る。それにより、社会の  
活力が失われ、地域経済  
の規模縮小・医療介護の  
負担が増加すると思われ  
る。人口減少対策として  
Uターンの促進等課題ご  
とに数値目標を定め、施  
策を推進する。

【質問】平成17年と平成27  
年の、この10年間で、本  
市の人口は6.4%の減少。  
農業従事者は約30%の減  
少。農村を取巻く問題を、  
どのように認識している  
か。

【農水】地域コミュニティ  
の維持に支障をきたす恐  
れがあると懸念している。  
【質問】農業振興の拡充と  
今後の展開について。  
【農水】農業は本市の基幹  
産業。農業従事者の高齢  
化等様々な課題がある。

集落営農組織等への支援  
や農業振興に必要な事業  
への補助の拡充について  
も検討していきたい。  
学校給食と地産地消につ  
いて

【質問】学校給食での、唐  
津市産の食材の調達率は。  
【教育】唐津市は、49・6  
%。県内平均42・5%を  
上回っている。

【質問】唐津には様々な食  
材がある。どのような方  
針で給食を実施している  
のか。

【教育】子供達の健全な発  
育に資する、安全安心な  
給食を提供している。ま  
た、地場産品や郷土料理  
を取り入れることで郷土を  
愛する心と地産地消の推  
進に取組んでいる。給食  
に関する情報発信に努め  
より一層の地産地消の推  
進に努めたい。



給食の調理風景



## 意見書(要旨)

市議会では、意見書として、権限を持って  
いる行政機関に提出し、解決を求めるために  
議会としての意思を表明しています。

### 義務教育費国庫負担制度及び教職員定数の拡充を求める意見書

学校現場における課題が複雑化・困難化する中で、子ども達の豊かな学びを実現させるためには、教材研究や授業準備の時間を十分確保する事が不可欠である。そのためには、教職員定数改善などの施策が最重要課題となっている。

明日の日本を担う子ども達を育む学校現場において、子ども達への教育は極めて重要である。人材育成につながる教育予算を国全体として安定的に確保・充実させる必要がある。

- 1 教育の機会均等と水準の維持向上を図るため、義務教育費国庫負担制度の負担割合を2分の1に戻すこと。
- 2 計画的な教職員定数改善を推進すること。

意見書の全文及び提出先は、唐津市議会のホームページで閲覧できます。

## 委員会の現地調査

唐津市議会には4つの常任委員会が設置されています。付託された議案等の中から、現地確認が必要な箇所を選定し調査しています。



都市整備委員会

市道石原線（巖木町）



総務教育委員会

消防指令センター（二太子）



市民厚生委員会

鏡放課後児童クラブ（鏡）



産業経済委員会

浜崎海岸浸食（浜玉町）

## 議会交際費を公表します

議会交際費とは、円滑な行政並びに議会運営のため、議会が行う外部との交際に必要な経費です。

### 平成28年度 支出状況

支出項目	件数	金額（円）
弔慰	18	206,000
見舞	0	0
御祝	1	10,000
賛助	4	27,160
接遇	3	47,696
会費	40	192,500
その他	2	20,500
合計	68	503,856

#### 【用語解説】

弔慰：議会関係者及びその親族に対する香典、供花などに係る経費  
見舞：議会関係者の病氣、災害などの見舞に係る経費  
御祝：記念行事、式典、祝賀会などに際しての祝いに係る経費  
賛助：各種大会、新聞などの特別企画などで公益性のあるものへの賛助  
接遇：来客、市政関係者との懇談、土産、記念品などに係る経費  
会費：円滑な市政、議会運営に資する会議、会合、研修会への参加に係る経費  
その他：上記の区分に掲げるもの以外に係る経費

問い合わせ 議会事務局（☎72-9162）

## 編集後記

本号がお手元に届く頃には、暑い夏真っ盛りのことと思います。

7月の九州北部の記録的な集中豪雨により、被害に遭われた皆様に心よりお見舞い申し上げます。今なお避難されている皆様、復旧作業に従事されている皆様の安全を心よりお祈り申し上げます。

今回の議会だよりから、議案質疑の紙面を変更しました。今後とも、より多くの市民の皆様にお手に取っていただけるよう、委員全員で頑張っていきたいと思っておりますので、皆様のご意見ご感想をお待ちしております。

### 「唐津市議会だより」編集委員会メンバー

- |       |          |     |       |
|-------|----------|-----|-------|
| ・委員長  | 富田 幸樹    | ・委員 | 林 正樹  |
| ・副委員長 | 大西 康之    | ・委員 | 江里 孝男 |
| ・編集長  | 吉村慎一郎    | ・委員 | 馬場 幸年 |
| ・委員   | 原 雄一郎    | ・委員 | 福島 尚美 |
| ・委員   | 青木 茂(1期) | ・委員 | 伊藤 一之 |
| ・委員   | 古藤 宏治    | ・委員 | 宮本 悦子 |
| ・委員   | 山下 壽次    |     |       |

（「唐津市議会だより」は再生紙を使用しています）

- ◎ 発行：唐津市議会
- ◎ 編集：「唐津市議会だより」編集委員会  
唐津市議会事務局内  
☎ 72-9162 FAX 75-1515  
(☎847-8511 佐賀県唐津市西城内1番1号)